

## 平成 21 年度 第 4 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 21 年 7 月 15 日（水） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：県庁 10 階 企業局会議室

出席者：病院局 病院事業管理者、病院局長、経営企画課長 ほか  
病院 中央病院長、海部病院長、中央病院副院長、  
各県立病院看護局長、各県立病院事務局長 ほか

### 県立病院基本理念の唱和

**管理者：**「理念」とは、すべての職員の共通の価値観であり、行動指針である。だからこそ、病院局や病院内で行われる議論や取り組み全ては何のためにやっているかということ、それは「理念の実現」のためにやっているのである。それぞれの職種や職位で、また、それぞれの仕事を通じて、どのように理念を実現していくかが重要である。

我々は“県民に支えられた病院として 県民医療最後の砦となる”という理念を掲げているが、“県民に支えられる”ために、全ての職員がどういう医療をすべきか、を考えないといけない。

### (1) 平成 21 年度決算見込について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 21 年度決算見込（5 月末現在）について示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**「医療は製品」である。自社製品の品質管理が行えていない企業は倒産するように、我々病院も品質管理を十二分にやっていかなければならない。県立病院においては、年間 22 億円の税金が投入されているが、民間病院は税金を払っている。であれば、当然のこととして、県立病院には民間病院との違いが求められる。その違いについて、県民に対し、こと細かく説明しなくても、普段の我々の仕事ぶりに接すれば、その違いがすぐにわかるような仕事をしなければならない。

### (2) 新規入院患者数・入院診療単価について

#### 【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成 21 年 4 月 5 月累計の患者数について、新規入院患者数・入院診療単価の視点から、平成 20 年 4 月 5 月累計との比較を示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**内科・外科・整形外科の動向を気にしてもらいたい。

**管理者：**三好病院について、亜急性期入院医療管理料の取得を検討してもらい

たい。

### (3) 病院 QC 活動の状況と改善効果について

#### 【説明】中央病院

中央病院の QC 活動としては、それぞれの部署においてサークル活動を行っており、年に 1 回の発表会もしている。平成 20 年度には、注射薬個人セット率の上昇や、回診車の整理等が図られた。その結果、品質管理に繋がったことは勿論であるが、QC 活動の意識向上にも繋がった。今後の課題としては、病院全体への活動としていくことである。

#### 【説明】三好病院

三好病院の QC 活動としては、36 の委員会を設置し、職種の別なく全ての職員が参加している。その結果、大腸検診者待合室の設置や外来待合室のテレビ増設等に繋がった。今後、QC 活動が病院全体でどう活かされているかの検証や、基本理念に沿った病院づくりや各部門の活性化へ繋げていきたい。

#### 【説明】海部病院

海部病院の QC 活動として、業務改善委員会がある。平成 20 年度には、外来点滴室の開設、検査技師による早朝病棟採血支援等を行った。これらの効果として、患者さんの満足度の向上、早朝における本来の看護業務の時間の増加等を挙げることができる。今後は、QC 活動活性化のため、委員会に係る要綱の見直しを検討したい。

#### 【質疑等】

**管理者：**看護局だけでなく、すべての部署が参加する活動にしてもらいたい。そして、それは継続的に行うことが重要である。

いくつかの部会を作り、全ての職員がどれかの部会に属するようにしてはどうか。チームリーダーは医師が担っていく。部会間でオーバーラップする部分は必ずでてくる。そのため、部会同士のミーティングも行う。そのような仕掛けを幹部職員に作ってもらいたい。それを継続的に行っていく。

3 病院間での情報交換も必要である。病院局が情報交換を行うことのできる場を設定してもらいたい。

**中央病院：**継続していくためには、面白い会議でなければ駄目である。先程のプレゼンにあったが、中央での QC サークル活動の発表会のプレゼンは面白いものとなっている。

### (4) その他

#### ・平成 20 年度決算審査について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 20 年度決算審査について、日程等を示す。